

# 平成26年度 予算

平成26年度 町の予算総額

# 195億1,033万円

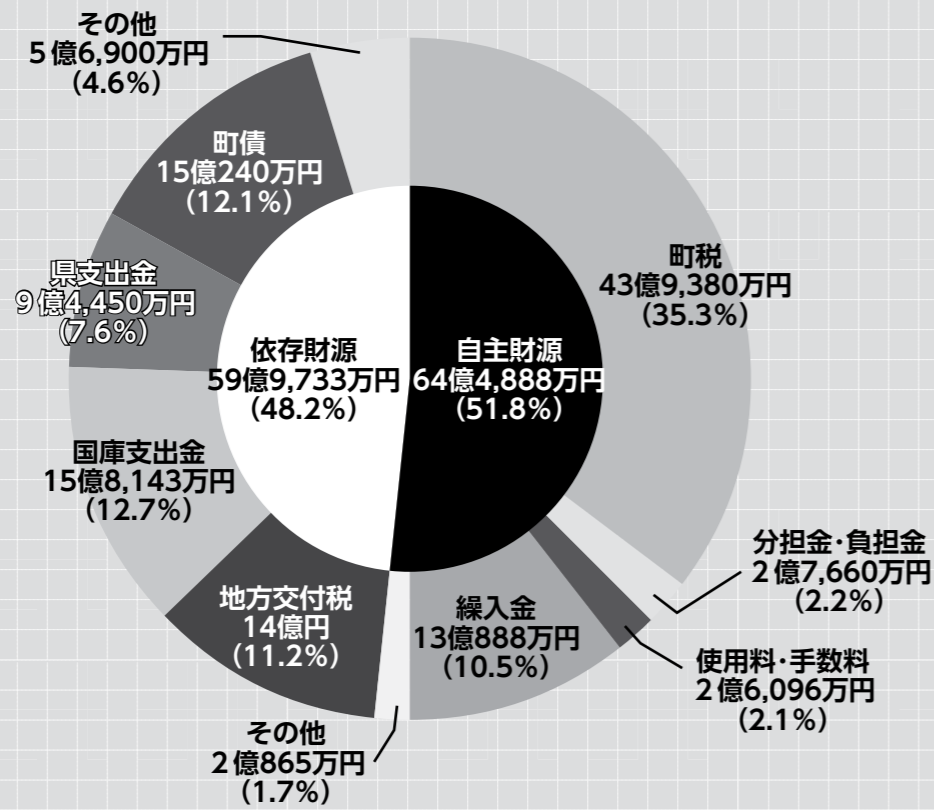
平成26年度の一般会計の予算額は、124億4,621万円です。対前年比26億8,459万円、27.50%の増額です。特別会計と合わせると195億1,033万円で、前年度の当初予算より30億5,297万円、18.55%の増額となっています。ただし、平成25年度の当初予算は町長選挙が行われたことにより「骨格予算」として編成しており、その後、6月補正予算(肉付予算)後の予算総額は、172億5,406万円となり、それと比較しても22億5,627万円の増額となります。

特別会計予算の総額は、70億6,412万円で前年度に比べると、3億6,838万円の増額です。特別会計の予算規模は、共有財産特別会計はほぼ横ばいなものの、その他の特別会計(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療)や公営企業会計(公共下水道、農業集落排水特別会計、工業用水道事業)は全て増額になっています。個別に見ると、国民健康保険が1億768万円、公共下水道が1億1,589万円、介護保険が1億1,192万円、農業集落排水が238万円、後期高齢者医療が393万円増額、工業用水道が2,658万円増額となっています。

## 一般会計予算

災害復旧事業や予防接種事業が減額になったものの、公共施設整備基金や庁舎建設基金への積立、国民健康保険特別会計への繰入金、障害者福祉サービス事業や新設保育所の建設事業者への補助金、消費税の引き上げに伴う低所得者や子育て世帯への影響を緩和するための臨時給付金、大津北中学校増築工事などの事業の新規・拡充が影響して、前年度と比較して27.50%増の予算編成になっています。予算総額では前年度に比べ26億8,459万円の増額となっています。

## 歳入



※万円以下四捨五入  
※端数処理により合計は一致しない場合があります

自主財源は歳入全体の51.8%を占めていますが、前年比13億9,929万円、27.7%の増となっています。これは財政調整基金と公共施設整備基金の繰り入れが大きく増加したことが影響しています。町民税は昨年と比較し7,000万円増額で計上しており、町税全体で6,500万円(1.5%)の増額となっています。分担金負担金は私立保育所負担金が伸び、430万円の増額です。使用料・手数料は住宅使用料が伸び、760万円の増額です。繰入金は大きく12億9,320万円(8251.7%)の増額です。その他のうち、諸収入が3,830万円(69.7%)の増額です。繰越金は昨年と同額となっています。

依存財源は、前年度比12億8,500万円(27.3%)の増額です。地方交付税は前年度比1億円の増額を見込んでいます。国庫支出金は約5億円の増額です。障害者福祉負担金、北中学校増築の負担金、臨時福祉給付金、社会資本整備総合交付金などがそれぞれ増額となっています。県支出金も、1億9,000万円の増額です。主な増額は民生費補助金で、私立保育所の整備補助の1億3,700万円です。町債は、4億3,600万円の増額です。臨時財政対策債は、10億円で前年度同額です。他は、それぞれ事業にかかるものですが、社会資本整備総合交付金事業、大津北中学校増築にかかるものです。

## 平成26年度の予算規模

会計名	予算額	対前年比	会計名	予算額	対前年比
一般会計	124億4,621万円	+27.50%	介護保険特別会計	22億470万円	+5.35%
国民健康保険特別会計	30億3,861万円	+3.67%	農業集落排水特別会計	1億3,549万円	+1.79%
大津町外四ケ市町村共有財産 管理処分事務受託特別会計	348万円	+0.03%	後期高齢者医療特別会計	2億6,510万円	+1.50%
公共下水道特別会計	13億3,027万円	+9.54%	工業用水道事業会計	8,648万円	+44.38%

合計 195億1,033万円(+18.55%)

※表示単位未満端数処理のため合計額は一致しない場合があります。